

病院情報基幹システム更新基本計画

1. 目的

- (1) 2014年度導入の病院情報基幹システムのソフトウェア及びハードウェアの更新
- (2) 既存ソフトウェアの問題点の克服と現在の医療サービスの実情に沿ったシステムを導入することによる業務の効率化

2. 基本方針

- (1) **情報提供のシステム導入と診療情報の共有化**
 - ※地域と連携した医療サービスの質の向上、チーム医療の拡充
- (2) **長期間運用とスタッフの負担軽減**
 - ※稼働年数 最低6年間を見込む。(外的要因の動向により変動する場合あり)
 - ※医療スタッフの負担軽減に寄与する仕組みを備える
- (3) **付加機能導入による診療サポートの向上**
 - ※新しいサポートシステムの導入と多くの外部システムとの連携が可能なシステム
 - ※保守料の範囲でレベルアップを行いシステムの陳腐化を防ぐ
 - ※タブレット端末等の無線LAN機器利用拡充に対応する
 - ※患者サービスに寄与する付加機能の導入
- (4) **基本ノンカスタマイズ**
 - ※現在保有している機能は基本的にすべて網羅していること
 - ※豊富な導入実績をもつパッケージシステムによる短期安定稼働を目指す
- (5) **効率性・継続性の向上**
 - ※サーバ仮想化促進による物理サーバのリソース(メモリやHDD)の効率的な利用
 - ※設置場所の節約、消費電力、CO₂削減、ハードウェア削減効果及び管理・運用の一元化
 - ※2009年以降蓄積してきた電子カルテ資源の確実な継承
- (6) **更なる画面展開速度の向上と信頼性**
 - ※磨き抜かれた機能と、より良い操作性、視認性の確保
 - ※ハードウェアも含めたトータルでの信頼性
 - ※ハードウェア/ソフトウェアの一元サポート

3. 調達範囲

- (1) **ネットワーク**
 - 診療系：回線及びコアスイッチ(L3)、サーバスイッチ及びフロアスイッチは2019年度に更新済の為、現用品を使用し、各エッジスイッチを更新対象とする
 - ：無線LAN機器は2019年度更新済であり、現用品を使用する
 - ：ネットワーク機器製品は上位スイッチとの関係上、Cisco製品とする
 - 職員系：現用品(2019年度更新)をそのまま使用する
- (2) **導入予定システム**
 - 別紙1 市立宇和島病院_システム概要図_2020 参照

4. 調達方法

プロポーザル方式による随意契約 ※今回の調達は予算上の関係で資産購入を選択するものとする